



2021年9月 No.91 発行 社会福祉法人さぬき 在宅福祉課

ケアハウス 『さぬきピアホール』

コロナ禍の自粛生活の中、今年も「ピアホール」を開催しました。ビールを飲めない方もジュースで『乾杯!!』ピアホールの雰囲気味わっていただくために「手作りのハイビスカスの花」を飾り、皆様にも「レイ」をかけて参加して頂き、暑い夏のひとときを美味しいおつまみとビールで楽しめました。



支援センター

オリンピックも終わり、少し寂しさを感じる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか？ワクチン接種を終え、ほっとしたいところですが、まだまだコロナ感染症は落ち着かず、不安な日々をお過ごしかと思えます。おうち時間が長く、何かすることはないかな～？とと思っているあなた「人生会議」をはじめませんか？

人生会議とは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)のことで、将来誰にでも起こる「もしも」があった時、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるか、自ら考え、また信頼する人たちと話し合うことをいいます。

私たちケアマネジャーは、医療と連携を図るため共有シートというものを作成していますが、その共有シートの中にも新しく「大切にしていること」という項目ができ、これから担当利用者様にお聞きしていく予定です。

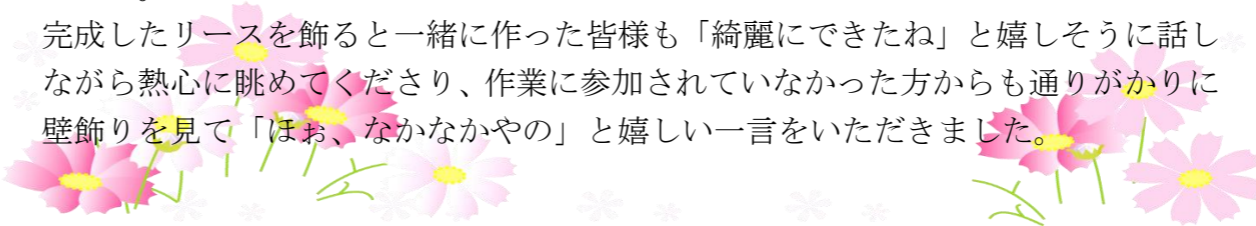
「もしも」の時のために、自分の大切な人と話してみませんか？



ショートステイ

コロナの影響で外出の機会が減っていますが、ショートステイでは季節に合わせた雰囲気作りを目指し利用者の皆様と一緒に壁飾り作りを行っています。秋のリース作りをした際には皆様と協力しながらコスモスの花やすずきなどを作り、土台にのりで貼りつけて完成させました。手芸が好きな方も多く、「昔はよくこんな細かい作業もやっていたよ」と楽しそうにお話をされながら作業に取り組みれました。

完成したリースを飾ると一緒に作った皆様も「綺麗にできたね」と嬉しそうに話しながら熱心に眺めてくださり、作業に参加されていなかった方からも通りがかりに壁飾りを見て「ほお、なかなかやの」と嬉しい一言をいただきました。



デイサービスセンター

少人数リハビリ始めました。

以前は機能訓練室にて大人数でリハビリをしていましたが、今回、制度改正に伴い、さぬきでも個人のレベルに合わせて少人数での個別リハビリを始めました。ペットボトルを使ってのダンベル運動や歩行訓練や頭を使いながらの体操を行っています。

利用者様もリハビリを楽しみにされており、「リハビリは何時から♪」「今日はどんな体操をするのかな♪」などの声があり、リハビリを終えると「ああ、ええ汗かいた。頑張った」と充実した様子です。

残暑が厳しく暑い日が続きますが、皆さんも私たちと楽しく体を動かしませんか？



使っている道具も みんなで手作り！ 体操もやる気アップ！

長い廊下は 歩行訓練にピッタリ♪

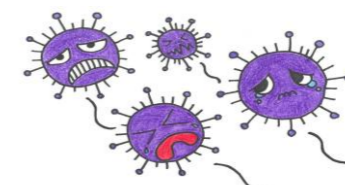


ヘルパーの感染対策をご紹介します。

- 出勤前には必ず体温測定を行っています。
- 消毒液を携帯し、援助の前後はもちろんこまめに手洗い、消毒を行っています。
- 援助中は常時マスク、ゴーグルを着用しています。
- 微熱があった方、県外の方と接触があった方がおられましたら、すべて着替えを行ってから次の訪問先に伺っています。
- プライベートでも不要の外出や人混みを避けて、行動制限を徹底しています。

ヘルパーがウイルスを持ち運ばないように、皆様が安心してヘルパーをご利用していただけるよう、引き続き感染対策をしっかり行ってまいります。

利用者の皆様にも毎回体温測定、マスクの着用、部屋の換気をお願いしております。引き続きご協力よろしくお願いたします。



〒760-0005 高松市宮脇町2丁目37-21

社会福祉法人さぬき在宅福祉課

TEL : 831-4498 FAX : 862-9302

Web : www.sanuki-sha.or.jp

